

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90221	日本音楽史研究	4単位 通年	1・2	講義	高瀬 澄子

■テーマ

日本音楽の歴史的研究

■授業の概要

日本音楽の歴史的研究に関する文献を講読する。講読する文献には、東アジアの周辺地域（中国や琉球）の音楽に関する文献も含まれる。

■到達目標

- ・日本音楽の歴史的研究に関する様々な方法や問題を理解していること。
- ・授業の中から課題を見出し、授業で学んだ方法を用いて自ら研究できるようになること。

■授業計画・方法

平成30年度は、板谷徹『近世琉球の王府芸能と唐・大和』（岩田書院、2015年）を取り上げる。本書の中からいくつかの論文を選び、全員で講読する。その後、各論文について担当者を決めて口頭発表を行い、全員で討論する。学期末には発表内容をレポートとしてまとめる。

前期

1. 総論
2. 論文の講読 1
3. 論文の講読 2
4. 論文の講読 3
5. 論文の講読 4
6. 論文の講読 5
7. 論文の講読 6
8. 論文の講読 7
9. 論文の講読 8
10. 論文の講読 9
11. 論文の講読 10
12. 口頭発表 1
13. 口頭発表 2
14. 口頭発表 3
15. 総括

後期

1. 前期レポートの講評
2. 論文の講読 1
3. 論文の講読 2
4. 論文の講読 3
5. 論文の講読 4
6. 論文の講読 5
7. 論文の講読 6
8. 論文の講読 7
9. 論文の講読 8
10. 論文の講読 9
11. 論文の講読 10
12. 口頭発表 1
13. 口頭発表 2
14. 口頭発表 3
15. 総括

定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・毎回の授業にて、日本史年号の復唱と簡単なくずし字の演習を行うので、予習しておくこと。
- ・古文・漢文の辞書を持参すること（電子辞書でもよい）。
- ・論文はあらかじめ読んでおき、わからない用語や歴史的背景などを調べておくこと。
- ・講読の状況に応じて、授業中に小さな課題を与えることがある。

■成績評価の方法・基準

【方法】

- ・平常点（50%）、学期末レポート（50%）。平常点は、授業への参加状況、授業中の課題や口頭発表などを評価する。

【基準】

- ・到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。
- ・芸術文化学研究科（博士課程）の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 適宜プリントを配布する。

□テキスト 適宜プリントを配布する。

□参考文献 板谷徹『近世琉球の王府芸能と唐・大和』岩田書院、2015年。